

みずほCustomer Desk Report 2022/11/30号(As of 2022/11/29)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	138.89
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	138.70	1.0344	143.40	1.1960	0.6651
SYD-NY High	139.35	1.0395	144.02	1.2062	0.6749
SYD-NY Low	137.89	1.0320	143.05	1.1946	0.6641
NY 5:00 PM	138.71	1.0328	143.24	1.1953	0.6687
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,852.53	3.07	日本2年債	▲0.0300%	0.0000%
NASDAQ	10,983.78	▲ 65.72	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,957.63	▲ 6.31	米国2年債	4.4794%	0.0361%
日経平均	28,027.84	▲ 134.99	米国5年債	3.9245%	0.0521%
TOPIX	1,992.97	▲ 11.34	米国10年債	3.7488%	0.0703%
シカゴ日経先物	27,990.00	▲ 100.00	独10年債	1.9105%	▲0.0785%
ロンドンFT	7,512.00	37.98	英10年債	3.0985%	▲0.0250%
DAX	14,355.45	▲ 27.91	豪10年債	3.5870%	0.0390%
ハンセン指数	18,204.68	906.74	USDJPY 1M Vol	13.97%	▲0.26%
上海総合	3,149.75	71.20	USDJPY 3M Vol	12.59%	▲0.22%
NY金	1,748.40	8.10	USDJPY 6M Vol	11.87%	▲0.05%
WTI	78.20	0.96	USDJPY 1M 25RR	▲1.25%	Yen Call Over
CRB指数	275.52	2.60	EURJPY 3M Vol	11.89%	▲0.18%
ドルインデックス	106.82	0.14	EURJPY 6M Vol	11.76%	

東京	東京時間のドル円は138.70レベルでオープン。仲値にかけては実需要因でドルが買われ、ドル円は139.35まで上昇するも、買い一巡後は米長期金利の低下も背景にドル売りが強まり、138.50近辺まで下落。その後も売り買い交錯する中、ドル円は狭いレンジで推移し、オープンと同水準の138.65レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、138.65レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ上値重い立ち上がり。一時137.89まで売られ、138円を挟んでもみ合い138.10レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は本邦実需の月末絡みのドル買いに139.35まで上昇するが、その後は中国規制当局が不動産開発会社に対して資金調達の規制を緩和されたことを好感し、ドル売りが優勢となったことから137.89まで反落し、138.10レベルでNYオープン。朝方はユーロドルが上値を重くする中、ドル円は138.85まで戻す。10時に発表された米11月消費者信頼感指数は予想を若干上回ったが、現況、期待共に前回から低下し138.23まで反落する。午後は、明日午後のパウエル議長の講演を控え徐々にドルが買い戻され、138.71レベルでクローズした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りに一旦1.0395まで戻し、1.0375レベルでNYオープン。朝方はNYオープンと同時に発表された独CPIが予想を下回り、来月のECB理事会では50bpの利上げがより強く意識され、ユーロドルの上値は抑えられ1.0325まで下落した。その後一旦1.0373まで戻す局面もあったものの、午後はドル買いが優勢となり、1.0320まで下落し、1.0328レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・大橋

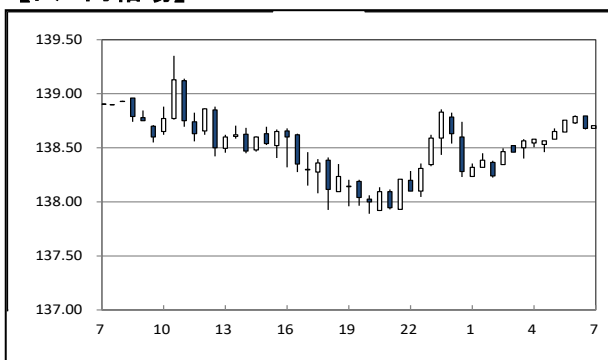
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月29日	19:00	欧	消費者信頼感・確報	11月 -23.9 -
	22:00	独	CPI(前月比/前年比)・速報	11月 -0.5%/10.0% -0.2%/10.4%
	23:00	米	FHFA住宅価格指数(前月比)	9月 0.1% -1.2%
11月30日	00:00	米	コンファレンスボード消費者信頼感	11月 100.2 100.0

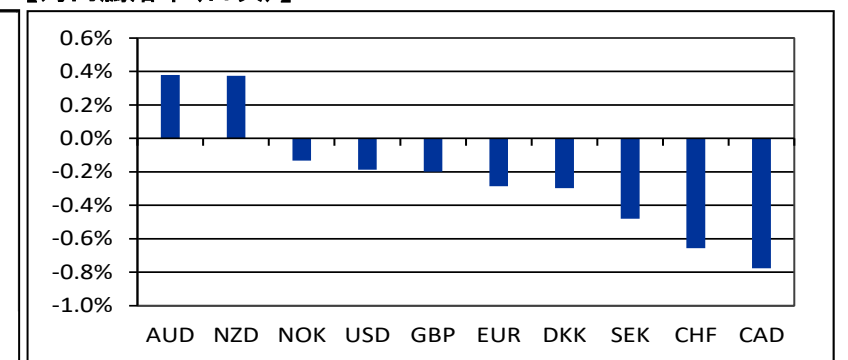
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月30日	19:00	欧	CPI(前月比/前年比)・速報	11月 0.2%/10.4% 1.5%/10.6%
	22:15	米	ADP雇用統計	11月 200k 239k
	22:30	米	コアPCE(前期比)	3Q S 4.5% 4.5%
	22:30	米	個人消費	3Q S 1.6% 1.4%
	22:30	米	GDP(年率/前期比)	3Q S 2.8% 2.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	137.80-139.90	1.0300-1.0400	142.50-145.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は138円半ばを中心に上下80銭程度のレンジ展開。東京時間は月末絡みの実需に伴うフローやFed高官のタカ派発言等を手掛かりに朝方からドル買い優勢の中、ドル円は139.35まで上昇するも、週初高値139.42レベルを前に上値は重く買い一巡後はドル円は反落。中国当局が不動産業界への支援策を発表したことを受け中国・香港株が急反発する流れに足元リスクオフドル買いをアンワインドする動きも相まってドル円は下げ幅を拡大しロンドン時間には137.89まで下落。もっとも、その後は独11月CPIが市場予想を下振れる結果にユーロが対ドルで下落した他、米11月コンファレンスボード消費者信頼感の堅調結果を受けてドル買戻しも一部入り、ドル円は結局138円半ばまで戻す展開となった。本日ドル円については、引き続き月末絡みの実需フローにサポートされつつ上昇展開がメインシナリオ。なお、海外時間には米11月ADP雇用統計やパウエルFRB議長講演、ページブック公表等を予定しイベントドリブンではあるものの、特に注目されるパウエル議長講演については直近FOMC後の講演でもタカ派傾倒しているだけにドル買い材料の方向感が予想されドル円はアップサイドへの動きを警戒しておきたい。